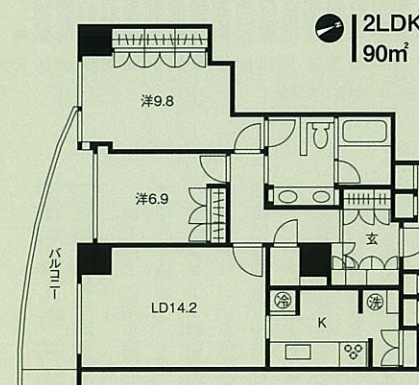




1 屋上にあるデッキからの眺め。居住者は自由に上がることができる。夏には花火を眺めて楽しむ居住者もいるそう 2 折り上げ天井のあるリビング。埋め込み式エアコンですっきり 3 接客教育と情報共有が行き届いたフロント。スタッフ全員が常にハイレベルのサービスを提供 4 最上階にあるジム。トレーナーのアドバイスやマッサージが受けられる 5 書斎からは間近に東京タワーが



持ち家
vs
賃貸



〇さん
(本人・パートナー・猫)
賃貸物件
・交通：都営三田線御成門駅徒歩3分、日比谷線神谷町駅徒歩4分

落ち着いたクラス感を漂わせる「愛宕グリーンヒルズフォレストタワー」のロビー

賃貸派

住まいの価値は
「所有」より「使用」

立地、共用施設、サービス。
賃貸だからできる贅沢

「私の住まい選びの基準は3つ。立地、共用施設、そしてサービスですが、後者2つはハイグレード賃貸物件が分譲物件を凌ぐと思っています」

〇さんが港区の今の賃貸を選んだ理由だ。どこへ行くにもアクセスが良く、緑と静けさにも恵まれた立地。施設は最上階にジム・プール付きのスパとレストラン、その下に24時間対応のクリニックがある。トライアスロンの大会に出場する〇さんにとってはこの上ない条件だ。〇さんは毎朝出勤前にジムを利用して、健康管理とストレス解消にもなり、欠かせないそう。

「ジムトレーナーやフロントスタッフには必ず名前前で呼ばれ、部屋番号を聞かれたことは一度としてありません。徹底してパーソナライズされたサービスだから快適なんです。分譲にこのレベルがないといませんが、この水準を望むと、価格に即、跳ね返る。それと思うと、今の住まいは実にリーズナブルな選択でした」

家は、ライフスタイルを
実現する手段

そもそも〇さんは、住まいを資産とはとらえていない。「家は、所有ではなく、使用するもの。私にとって最も重要なのは、どういうライフスタイルを選択するかで、住まいはそれを実現するための手段なんです」

人生は毎日の時間の切り売り、その積み重ねだという〇さん。「時間」に何より価値を感じている。ゆえに、という時間を過ごせる家が、賃貸か分譲かの選択よりも先の3つの条件を優先させるという考えだ。とはいえ、賃貸ならではの自由も実感している。

「以前も港区の賃貸でしたが、転職して勤務地が変わったので、より便利な立地の今の賃貸に転居しました。転職したのは、世界同時不況の影響からです。人生、何が起るか分からない。そして、自分が望むライフスタイルも、時期や状況で変わります。これらのリスクに対して賃貸なら身軽に動ける。そのメリットはあると思いますね」